― 第 14 号 ―
2017 年 11 月発行

中国交流ネットワーク通信

＜ 目次 ＞

（１）お知らせ
■ 中国・黒竜江省ＤＡＹ事業の開催について
■ 「赤れんが通信」の発行について

（２）中国関連の動き
■ 北海道と清華大学との今後の交流に向けた覚書の締結について
■ 「全日本中国語スピーチコンテスト北海道大会」の開催
■ 孫　東生黒竜江省副省長訪問団の来道
■ 中国人留学生と知事との意見交換会・懇談会の開催
■ 黒竜江省青年交流訪問団の来道

（３）編集後記

＊＊

（１）お知らせ

■ 黒竜江省ＤＡＹ事業の開催について

1986 年、北海道は中国・黒竜江省と友好提携を締結しました。これを記念し、毎年「中国・黒竜江省ＤＡＹ（デイ）事業」を開催しており、平成２９年度は２月 15 日（木）～16 日（金）の開催を予定しております。

●日時
　2018年2月15日（木）～2月16日（金）
●会場
　北海道庁１階　特別展示場（札幌市中央区北３条西６丁目）
●内容
・黒竜江省パネル展
・黒竜江省から北海道へ贈呈された貴重な品々の展示
・楊国際交流員による黒竜江省と中国文化セミナー
などを予定（申し込み等不要）

※詳細が決定しましたら、国際課ホームページ等でお知らせします
【国際課ホームページ URL】http://www.pref.hokkaido.lg.jp/ss/tsk/

～ご来場お待ちしております～

■「赤れんが通信」の発行

北海道庁国際課には現在、中国、韓国、アメリカからの国際交流員が１名ずつ在籍しています。国際交流員は、地域の国際交流事業への参加などを通じ、国際交流のお手伝いをしています。国際交流員は２ヶ月に１回程度（英語版は毎月１回）「赤れんが通信」を発行し、国際課のホームページで公開しています。

この通信では、交流員がそれぞれの視点で、北海道の観光や暮らしなどについてご紹介しています。中国語版では日本語の発行はありませんが、語学を勉強中の方々にも好評ですので、是非、ご覧ください。

＊10 月号のトピック＊

黒竜江省政府代表団の来道
中国・国慶節記念式典　など
～交流員による観光地紹介～
白い恋人パーク

「赤れんが通信」は、次の URL からご覧いただくことができます。

（URL）http://www.pref.hokkaido.lg.jp/ss/tsk/akarenga.htm

（２）中国関連の動き

■北海道と清華大学との包括交流に向けた覚書締結について

７月２９日（土）、東京都内において、高橋知事と中国トップレベルの総合大学・清華大学の邱　勇（きゅう・ゆう）学長が面談し、北海道と清華大学との包括交流に向けた覚書への署名を行いました。当日は高橋知事のほか北海道大学総長、札幌医科大学学長、北海道経済連合会専務理事が同席されました。

今後、プロジェクトの推進や人的交流の開始に向けた取り組みが始まります。

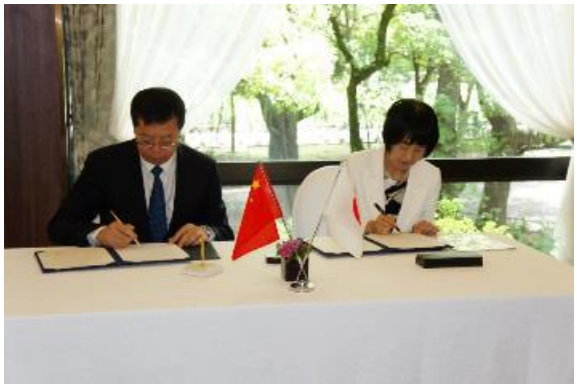
【北海道と清華大学との包括交流に向けた覚書概要】

日本国北海道と中華人民共和国清華大学とは、以下の項目の包括交流を進めるための事務協議を開始することに合意

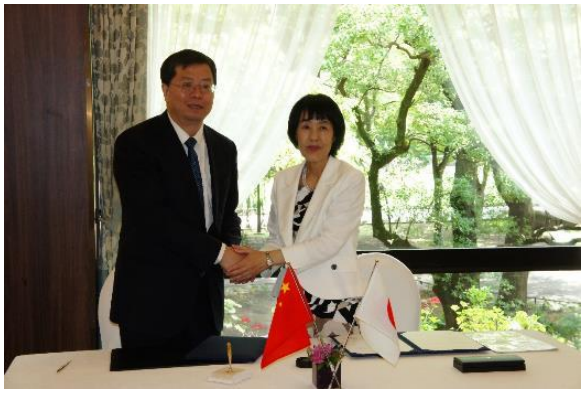
1　北海道の試験機関、大学、企業と清華大学との間における国際的産業競争力のある高度な研究プロジェクトの推進
2　学術・研究分野における人材交流
3　次世代を担う有望な学生間の交流
4　双方は、相互に代表者を派遣して具体的な協力事項について協議し、これを書面で定める
5　本覚書の有効期間は、３年とする

面談の様子

集合写真



邱学長と高橋知事による覚書署名



記念撮影

■　「全日本中国語スピーチコンテスト北海道大会」の開催

１０月２２日（日）、かでる２・７（札幌市）において、北海道日中友好協会が主催する２０１７年度「全日本中国語スピーチコンテスト北海道大会」が開催されました。

このコンテストは、北海道日中友好協会が主催するもので、「暗誦の部」、「朗読の部」、「弁論の部」の３部門に分かれており、合計２５名の参加申込みがありました。

暗誦の部は瀬田　紅葉さん（旭川啓明小学校）、朗読の部は林　一瑠さん（札幌大谷高校）、弁論の部は長野　匡さん（札幌大学）がそれぞれ優勝しました。

なお、弁論の部で優勝したさん長野　匡さんについては、来年１月に東京で開催される全国大会に、北海道代表として出場することが決定しました。

審査は、審査員長に札幌大学孔子学院の高瀬奈津子副学院長、審査員は中国総領事館の張毅（ちょう・き）教育担当領事、札幌丘珠高校の佐藤英三子教諭が担当しました。

また、今年は第 35 回を記念してコンテスト終了後にコンテスト参加者と中国人留学生との懇談会が開催され、参加者のみなさんは日頃の学習成果を活かしながら、中国語での交流を楽しみました。

■孫　東生　黒竜江省副省長訪問団の来道

１０月２日（月）～４日（水）、黒竜江省から孫　東生（そん・とうせい）副省長を団長に６名が来道されました。今年６月に黒竜江省ハルビン市で開催した、「北海道・黒竜江省・サハリン州との三地域交流会議」での合意を踏まえて、文化・スポーツ交流の促進を目的に道内関係者との意見交換、関連施設等訪問・視察を実施しました。

＜黒竜江省人民政府訪問団＞

黒竜江省副省長　孫　東生（そん・とうせい）
黒竜江省文化庁巡視員　綦　軍（き・ぐん）
黒竜江省外事弁公室副主任　王　英春（おう・えいしゅん）
黒竜江省体育局副局長 李　峰（り・ほう）
黒竜江省人民政府視学官　李　雲増（り・うんぞう）
黒竜江省外事弁公室日本処 処長　丹　碩（たん・せき）

左から 丹処長 李視学官 王副主任 孫副省長 綦巡視員 李副局長

滞在中の様子をご紹介します。

大倉山展望台、札幌オリンピックミュージアム視察（10/3）

訪問団は 2022 年に開催される北京冬季オリンピックをふまえ、大倉山展望台と札幌オリンピックミュージアムを視察されました。札幌市と北海道では 2026 年の冬季オリンピックの招致立候補をする予定であることについて説明を受けました。

また、今年６月にハルビン市でスキー場セミナーを開催していることから、オリンピックを核としたウィンタースポーツの連携の可能性についてお互いに確認しました。

大倉山ジャンプ場で説明を受ける訪問団

札幌オリンピックミュージアム視察

北海道立近代美術館表敬（視察）、北海道文化団体協議会との協議（10/3）

続いて訪問団は、北海道立近代美術館を表敬訪問され、同席した北海道文化団体協議会と文化交流の促進に向けた協議を行いました。北海道文化団体協議会と黒竜江省との芸術交流は、これまで相互の美術館交流などを重ね、活発な交流が行われています。来年１月には「第４回北海道・黒竜江省国際交流美術展」の札幌開催が予定されており、開催にあたって協力・連携をしていくことについて確認されました。そのほか、協議では黒竜江省で９月に開催された北海道文化団体協議会の若狭事務局長の「黒竜江省ギターリサイタル」についても話題になりました。

美術館では、常設展のほか特別展示場で開催していた「ゴッホ展」を鑑賞され、孫副省長は学芸員に次々と熱心に質問をされていました

美術館表敬と協議の様子

集合写真

北海道庁表敬訪問（10/3）

訪問団は北海道庁を表敬訪問され、孫副省長から今年６月にハルビンで開催した三地域交流会議の合意事項をふまえ、今回の訪問団は文化・スポーツ、青少年交流に関係する団員で組成したこと、また、滞在中に道側の関係者との意見交換・視察を実施することができ、一定の成果があったと報告されました。

さらに、９月に黒竜江省から観光（スキー場）交流を深化させるため省旅行発展委員会の主任がルスツに派遣されたこと、また道からは美術交流、ミニバレーなどのスポーツ交流促進について提案を行い、三地域交流を含めた両地域の交流促進に向けお互いに協力していくことを確認しました。

表敬訪問の様子

集合写真

■中国人留学生と知事との意見交換会・懇談会の開催

10 月 28 日（土）、日中国交正常化 45 周年を記念して、中国人留学生と知事との意見交換会と懇談会を民間の交流団体と共催で開催しました。意見交換会には 6 名の留学生が参加し、留学先に北海道を選んだ理由や印象、将来の目標などについて知事と意見交換をしました。

意見交換会参加者で記念撮影

参加者（左から順）
沈相俊　北海道大学大学院（黒竜江省出身）
曹建祥　札幌大学経営学部（山西省出身）
朱　偉　北海道大学大学院（遼寧省出身）
宋玉坤　北海道大学大学院（広東省出身）
青木雅典　札幌中国友好協会会長
高橋知事
辻副知事
佐藤国際局長
苗詩媛　北海道教育大学（遼寧省出身）
陳　剣　北海道大学大学院（浙江省出身）

意見交換会の後には中国人留学生 25 名のほか関係者を招いて懇談会を開催しました。参加した留学生は勉学・課題活動と北海道での留学生活を満喫している様子で、知事や青木会長から日中友好の架け橋となってほしいと激励の言葉を受け、それぞれの目標に向かって努力していこうと決意を新たにしていました。

来年には日中平和友好条約締結 40 周年を迎えることから、より北海道と中国の交流が活発になることが期待されます。

～事業への参加・
ご協力ありがとう
ございました～

■黒竜江省青年交流訪問団の来道

11 月 13 日（月）、（公社）北海道国際交流・協力総合センター（HIECC）の青年交流事業でハルビン音楽学院の学生や教師など 15 名が来道し、北海道庁を表敬訪問されました。この交流事業は 2008 年に黒竜江省外事弁公室と HIECC との間で青年交流協定が締結されてから今回で６回目の実施となります。

14 日（火）には、kitara コンサートホールのほか札幌大谷大学を訪問し、同大大谷記念ホールにて双方の所属学生による交流演奏会が開催されました。学生たちは短い交流時間の中で、すぐに打ち解け、熱心に記念撮影などをしていました。団長からは今回のようにテーマを持った青年交流が行うことは初めてであり、音楽は喜怒哀楽や友情を表現することができるものであるため、音楽を通じ両地域の交流がさらに促進されることが期待されると話されました。

趙学生処長と佐藤国際局長

交流演奏会参加者による集合写真→

（３）編集後記

「中国ネットワーク通信」をご覧のみなさま、いかがお過ごしでしょうか。今年は日中国交正常化 45 周年を記念した事業が日中両国で多く開催されましたね。

前回号発行から 11 月までの主な行事等を本通信でご紹介しましたが、こちらに書き切れない中国関連のニュースや行事、北海道と他国・地域との国際交流に関する出来事は、月１回発行しているメールマガジン「国際化通信」で情報発信をしています。

配信をご希望の方は下記のホームページより登録の手続きをお願いします。

また「中国ネットワーク通信」のバックナンバーは国際課ホームページで公開しています。

〇メールマガジンの詳細についてはこちら
http://www1.hokkaido-jin.jp/mail/magazine/
〇過去の「中国ネットワーク通信」についてはこちら
http://www.pref.hokkaido.lg.jp/ss/tsk/network.htm

掲載を希望する中国関連の情報がございましたら、是非お寄せください。

【発行】北海道総合政策部国際局国際課国際交流グループ
【国際課ホームページ URL】http://www.pref.hokkaido.lg.jp/ss/tsk/